

第1号様式(第7条関係)

平成25年4月1日

稲城市議会議長  
田中 繁夫 殿

会派名 民主党

経理責任者 岩佐 中ひろ

稲城市議会政務調査費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、別紙のとおり平成24年度政務調査費収支報告書を提出します。

第2号様式(第7条関係)

平成24年度政務調査費収支報告書

会派名 民主党








1 収入  
政務調査費 600,000円

2 支出

(単位 円)

科 目	金 額	主たる支出の内訳
研究研修費		
調査費	60,155	視察 女川町
資料作成費		
資料購入費		
広報費	440,706	議会活動を市民へ報告し、お知らせをする経費
広聴費		
通信費	60,000	調査活動に要する経費
事務費	39,531	コピー、ファックス、コピー用紙、印刷代
その他の経費		
合計	600,392	

3 残額 0円

議長	副議長	事務局長	次長	係長	係長	係
						
備考						

## 会派研修終了報告書

研修日	平成24年10月16日(火)
研修先	宮城県女川町廃棄物選別処理施設
主要調査 研修課題	東日本大震災により発生した災害廃棄物(可燃性廃棄物)の 広域処理受入れにあつての廃棄物選別処理の状況について
研修終了報告	<p>東日本大震災により女川町で発生した災害廃棄物(可燃性廃棄物)について、多摩川衛生組合での広域処理受入れが、10月1日から開始されたことを受け、適正に選別処理作業が行われているか、安全性を確認するため視察を行った。</p> <p>廃棄物選別処理は、機械での木材の一次選別破碎後、手選別によって可燃物(①紙・布・皮製品②廃プラ類③異物付着木材)、不燃物(①金属②鉄類)等の選別作業が行われていた。</p> <p>また①手選別後、②ストックヤード、③コンテナ積込時の3回行われる空間歩車線測定についても確認を行った。</p> <p>選別処理の状況視察後、女川町町民課より津波襲来の現地映像を上映いただくと共に、復興への妨げになっているで民有地の仮置き場に残る山積みの未処理の災害廃棄物の状況を確認し、災害廃棄物の処理を復興支援として最優先すべきであることを実感した。</p> <p>女川町における災害廃棄物を適正に選別処理されていることを確認し、被災地である宮城県における復興対策を迅速に遂行するために、さらに災害廃棄物処理が円滑に行われることを望む。</p>
参加者 氏名	梶浦みさこ、岩佐ゆきひろ

稲城市議会議長

田中繁夫 殿

上記のとおり、会派研修を終了しましたので報告します。

平成 24年 11月 /2 日

会派名 民主 党

氏名 梶浦 みさこ

